

## 指定管理者制度導入施設評価票

評価対象年度	令和4年度		
施設名	秋田県立男鹿水族館	設置年	平成16年
所在地	男鹿市戸賀塩浜字壺ヶ沢93番地先		
指定管理者	株式会社男鹿水族館		
県所管課	観光戦略	課	観光地域マネジメント推進チーム

### 1 施設の概要

設置目的	魚や海獣のふれあいを通じ自然保護や地球環境に対する知識と意識を深めるとともに、生涯学習の場を提供し、観光レクリエーション活動の為の利便の増進を図るほか、県内外の交流を促進することで地域の活性化を図る。					
県の施策上の施設の位置付け	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における、当該施設の位置付け・目標 人口減少の進行やデジタル技術の進展等のほか、コロナ禍により旅行ニーズの個人化・個性化が一層強まるなど、観光を取り巻く環境が大きく変化している中、自立した稼ぐ観光エリアの形成に向けた地域観光の中核施設 新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における目標を達成するための取組として、当該施設に求められているもの 多様な海洋生物の展示及び生涯学習の場の提供					
施設の面積	敷地面積12,470.86㎡、延床面積9,274.90㎡					
主な設置施設	水族館					
指定管理業務の内容	料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 利用料金併用制 ・ 完全利用料金制 無（指定管理料制）				
	料金設定	別紙				
	サウンディング実施対象施設※	○ ←○、×を記入				
	指定期間	H31.4.1		～ R6.3.31		
	営業期間・時間	通年（ただし1月後半5日間休館） ・3～10月 9:00～17:00、11～2月 9:00～16:00				
自主事業の内容	秋田県立男鹿水族館に関する次の業務 ①管理運営業務②施設維持管理業務 ③企画運営業務④事務処理業務 ⑤魚、海獣等の飼育に関する業務 各種企画展およびイベントの開催					
直近3年の年間利用者数	R2	112,332人	R3	143,855人	R4	170,360人
直近3年の年間料金収入	R2	94,073千円	R3	120,516千円	R4	144,308千円
直近5年の収支決算（単位：千円）	H30	R元	R2	R3	R4	
収入計	333,050	341,185	298,836	346,326	395,836	
利用料収入	132,091	135,740	94,073	120,516	144,402	
指定管理料	82,033	80,222	95,699	88,156	80,223	
その他収入	118,926	125,223	109,064	137,654	171,211	
支出計	330,047	338,849	300,018	345,927	393,839	
人件費	98,555	105,675	100,198	90,519	108,501	
人件費以外	231,492	233,174	199,820	255,408	285,338	
差引	3,003	2,336	▲1,182	399	1,997	

※単年度維持管理・運営費が1億円以上の公募施設について、民間事業者の意見を参考に運営手法や公募要件を検討するため、指定期間終了の2～3年前にサウンディング（官民対話）を実施する。

## 2 観点ごとの評価

### (観点 I) 施設の設置目的(施設の目指す姿)の達成に関する取組

【ポイント】

施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための取組がなされ、その効果があったか。

○指定期間における運営方針・施設の利用目標

※協定書に記載した運営方針・施設の利用目標を記載  
(R 6年度以降に指定管理を開始・更新する施設から基本協定書に定めることとなっているため、それまでは記載不要)

○目標の設定(毎年度、県と指定管理者が協議の上、業務計画書に定める目標)

令和4年度の目標	有料入館者数 165,000人
----------	-----------------

○指定管理者による実績報告

直近3年の実績	年度	R元年度	R2年度	R3年度
	目標	170,000	170,000	147,000
	実績	157,890	112,332	143,855
	達成率	92.9%	66.1%	97.9%
令和4年度の実績	実績	170,360	達成率	103.3%
	具体的な取組とその効果	教育旅行関連は近場から他県への行程見直しにより大幅に減少したが、新たな行動制限もなく個人客の回復に繋がった。コロナ禍により中止していた各種イベントの再開とSNSを中心とした積極的なプロモーションで誘客を図った。男鹿市プレミアムパスポートの実績が28,515名あり県内を中心に個人客増員の要因ともなっている。		
令和5年度の目標(設定根拠)	目標	165,000人		
	設定根拠	第4次行動計画に基づき、教育旅行の安定確保、SNS等による情報発信、地域との連携、催事・イベントの充実を図ることで達成可能な数値を設定した。		

※指標が複数ある場合は欄を適宜追加すること。

### (観点 I) の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	A	
	県(所管課)	A	

【評価基準】次の基準により評価。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

また、施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための、指定期間における運営方針・施設の利用目標について、指定期間開始年度から評価対象年度までの達成状況をコメント欄に記載すること。

A: 目標達成(数値目標の場合は100%以上)

B: A及びC以外

C: 目標達成に向けて改善が必要(数値目標の場合は80%未満)

## (観点Ⅱ) 施設の有効性(利用者の満足度)の向上に関する取組

### 【ポイント】

サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

利用者満足度の状況 (直近3年)	R元年度		R2年度	R3年度
	86.0%		84.7%	88.5%
令和4年度の実績	実績	89.2%		
	具体的な取組とその効果	新たにCS推進委員会を発足し月次でミーティングを実施。アンケートの分析、直接頂いたお客様の声をもとに指摘事項はスピード感をもって改善している。お客様目線での対応の浸透を図った。		

## (観点Ⅱ) の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	A	
	県(所管課)	A	

【評価基準】次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A：満足度80%以上 B：A及びC以外 C：満足度60%未満

## (観点Ⅲ) 効率性の向上等に関する取組

### (1) 経費の低減

#### 【ポイント】

施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和4年度の実績	経費の低減実績	経費については、ほとんどの科目が当初予算を下回る結果となったが、修繕費7,055千円増加(予算比235.6%)、水道光熱費8,526千円増加(予算比109.8%)が大きく影響したことで当初予算を上回る結果となった。
	具体的な取組とその効果	電気使用量については運転時間、温度設定の見直しなどにより年間3.6%の削減を行ったものの、値上がり分を吸収するまでには至っていない。修繕関係についても部品を購入して内製化で修理するなどコスト削減を行っている。

※費用の総額では効果が計れない場合は、例えば利用者1人当たりの単価を算出する方法等も考えられる。

### (2) 収入の増加 ※指定管理料制施設を除く

#### 【ポイント】

収入を増加するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和4年度の実績	収入の増加実績	利用料金収入が前年比で19.7%増加した。その他売店収入が前年比14.5%増加、レストラン収入が前年比27.4%増加した。
	具体的な取組とその効果	コロナ禍で休止していたイベントの再開やSNSを中心に積極的な情報発信を行ったことなどにより利用者が前年比18.4%増加した事に伴い各収入も増加した。

### (観点Ⅲ) の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	B	
	県 (所管課)	B	

【評価基準】 次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A：(1) 経費の低減、(2) 収入の増加とも前年比で5%以上改善

B：A、C以外

C：(1) 経費の低減、(2) 収入の増加とも前年比で5%以上悪化

### (観点Ⅳ) 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組

#### 【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）の適切な実施に向けた具体的な取組がなされ、その効果があったか

#### ○指定管理者による実績報告

令和4年度 の実績	<p>○運営面 新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、マスク着用の推奨や手指消毒の徹底等、お客様に安心してご来館いただける施設運営を心がけた。</p> <p>○営業面 男鹿市プレミアムパスポート事業へ参画し、地域一体となつての観光振興に寄与した。前年度コロナ禍という難しい時ではあったが社員の適切な配置や徹底した安全対策を行ったことにより学校やエージェントからの信頼を頂き、引き続き教育旅行でのご利用をいただいた。</p> <p>また、令和5年度以降を見据え、北海道教育旅行誘致のためのセールス活動を再開するとともに、秋田県観光連盟や男鹿市観光協会が実施するインバウンド商談会へも積極的に参加した。</p> <p>利用者アンケートでお客様の声を集め、業務改善に繋げた。例えば、繁忙期はレストランが混雑していて利用できないという声には、提供するメニューを手間数が少なく調理できるものに絞り、提供までの時間の短縮、回転率の向上に繋げた。他にも休憩場所が少ないとのご意見には、営業後のレストランをフリースペースとして解放した。</p> <p>○安全教育、社員研修 定期的に社員に館内設備の安全教育を行っている。社外の学会・研修会への参加を奨励しており、参加費や旅費の一部を補助し、社員の知識習得を支援している。</p>
--------------	---

### (観点Ⅳ) の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	B	実績報告に記載の通り、施設の管理運営等の指定管理業務は適正に行っている。
	県 (所管課)	B	コロナ禍においても安定した施設の管理運営を行っており、適切に指定管理業務を遂行している。

【評価基準】 A：順調（改善点なし）、B：概ね順調（重大な問題点なし）、C：改善が必要（重大な問題点あり）

県（所管課）の評価においては、モニタリング結果を踏まえて評価を行う。

## 【県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方】

※全施設記載

○県の施策の達成状況 (施設を運営することで、県の施策がどの程度達成されたか等) 小学生以下の無料利用を含めると年間で20万人程度の利用があるなど、男鹿地域の観光拠点の一つとして多くの観光客を集めており、男鹿地域全体への誘客にも寄与している。また、教育旅行・校外学習等の教育利用が年間で7千人程度あり、水生生物とのふれあいを通じた生涯学習の場を提供している。
○施設運営の課題 ・2004年に建設されてから19年が経過し、施設の老朽化が進んでおり、各種設備等の修繕を計画的に実施していく必要がある。
○今後の方向性 (県の施策の達成状況や課題を踏まえて、今後所管課としてどのように対応していくか等) ・利用者の安全や利便性の向上を図るための施設修繕を計画的に実施し、引き続き、男鹿地域の観光拠点施設として周辺地域への誘客を図る。

## 【外部有識者委員会による評価（提言）】

※外部有識者委員会の評価対象となる約20施設について記載

評価（提言）
○施設の管理運営状況について (（観点Ⅰ）～（観点Ⅳ）に対するコメントを記載)
○県の施策達成に向けた施設運営について (県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方を踏まえてコメントを記載)

## 【外部有識者委員会による評価（提言）を踏まえた今後の対応方針】

今後の対応方針
指定管理者 (施設の管理運営等について今後の対応方針を記載)
県所管課 (県の施策達成に向けた施設運営等について今後の対応方針を記載)

(14男鹿水族館) 指定管理者制度導入施設評価票 別紙 (料金表)

男鹿水族館

区 分		利用料金の額	
普 通 料 金	小学校児童及び中学生生徒	1人1回につき 500円	
	一 般	1人1回につき 1,300円	
	福 祉	小学校児童及び中学生生徒	1人1回につき 300円
		一 般	1人1回につき 800円
	教 育	小学校児童及び中学生生徒	1人1回につき 300円
	企 画	小学校児童及び中学生生徒	1人1回につき 450円以下
		一 般	1人1回につき 1,250円以下
定 期 券 (有効期間1年)	小学校児童及び中学生生徒	1人につき 1,200円	
	一 般	1人につき 3,000円	

備考

- 1 「小学校児童及び中学生生徒」には、これらの者に準ずる者を含む。
- 2 「福祉」の区分は、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳又は被爆者健康手帳を所持する者及びその者の付添人（1人に限る。）が、入館する場合に適用する。
- 3 「教育」の区分は、学校行事及び授業の一環として入館する小学校児童及び中学生生徒に適用する。
- 4 「企画」の区分は、企画商品の種類に応じて、表に定める金額の範囲内において指定管理者が別に定める。